

# 平成29年度 熊谷市避難所開設・運営訓練

## 訓練概要

目的 宿泊形式の避難所開設・運営訓練を通じて、避難所生活を疑似体験し、実際の避難生活の中で想定される実務及び課題を確認し、各家庭での災害対策を検討してもらう場とするとともに、市の避難所運営マニュアル及び市備蓄品の検証等を行う。

実施日時 平成29年10月21日（土）15時～ 22日（日）9時

場 所 スポーツ文化村 くまびあ 柔剣道場等

参加者 市民（奈良・代・原島・柿沼地区の各自主防災会）16名  
防災士等地域防災リーダー 15名  
熊谷市職員 15名  
くまびあ指定管理者 1名  
【別添、訓練出席者名簿参照】

### ～ 協力 ～

大塚製薬株式会社大宮支店1名（エコノミークラス症候群についての講演）  
株式会社NTTドコモ3名（携帯電話無料充電器及びWi-Fiスポットの設営・実演）

災害想定 (1) 10月21日（土）15時15分、埼玉県北部を震源域とする直下型地震が発生。（熊谷市の最大震度7、地震の規模はM8.1）  
(2) 熊谷市内では、家屋の倒壊、道路の損壊等のほか、電気・ガス・水道・電話等、ライフライン施設に大きな被害が発生している。  
(3) 上記の状況を踏まえ、市は避難所を開設し、避難者の受入を開始する。

## 避難所開設・運営訓練

開会式（15:00）  
 訓練説明・諸注意  
 （雨天のため、体育館アリーナにて実施）



市長あいさつ



職員による訓練実施上の注意説明

発災（15:15）  
 緊急地震速報  
 （シェイクアウト訓練）



緊急地震速報が流れ、姿勢を低くして頭部を保護する参加者



施設管理者による  
 施設・設備の安全確認  
 （市避難所班への安全確認報告）



トイレの使用を制限



施設管理者から市避難所班へ報告

避難所開設  
 避難者受入訓練  
 ・避難者カード記入  
 ・避難者名簿を作成  
 ・避難者誘導



避難者受付



避難者カードの記入方法を説明



約40名の避難者の受入れを開始



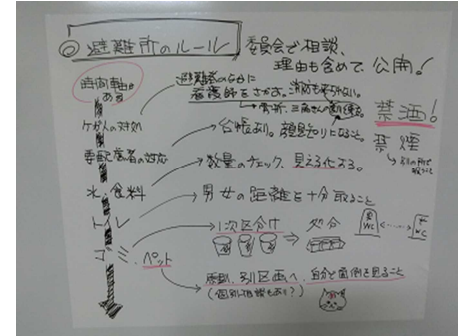
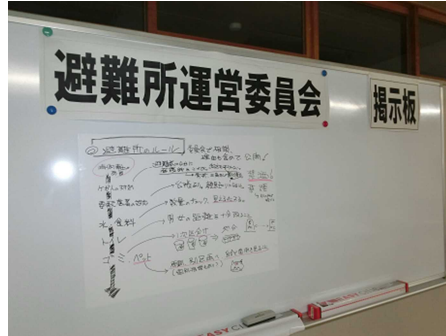


## 避難所運営委員会の設置

- 避難所運営委員会についての説明
- 避難所における生活ルールや各種対応を協議 (HUG形式)
- 情報班による決定事項等の広報
- 防災士 (オブザーバー参加) によるアドバイス・講評



白熱する議論



情報班による書き出し



防災士 (オブザーバー) からのアドバイスに耳を傾ける運営委員

## 生活スペース設営訓練 1 間仕切り設置



取扱方法の説明



最終的に 40 個の間仕切りを設置



注) 現時点では、全ての避難所にこの間仕切りが備蓄配備されている訳ではありません。

2 発電機・照明設置



発電機設置（雨天のため屋内設置）



投光器設置



照明に明りが灯ると歓声上がる。

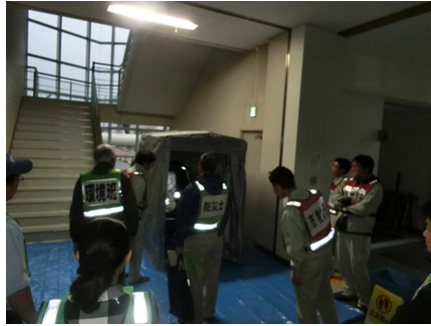
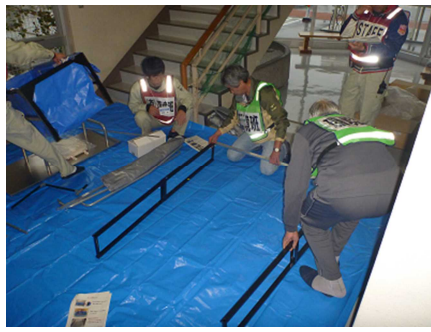
3 更衣室設置  
(ワンタッチテント)



更衣室には体拭きシートと拭くだけシャンプーを置き、試供してもらう。



4 仮設トイレ設置  
(雨天のため屋内で実施)



物資受入・炊出し訓練  
1 支援物資(食料)受入れ



支援物資到着、受け渡しを行う。

2 給水



給水車による給水

10Lの水のうへ給水し受け渡し

3 物資管理



受入れた物資の種類・数を一覧に書き出し、在庫の管理を行う。  
チェック後は物資保管場所にて保管(避難者から見える位置での管理)。

## 避難所体験訓練

### 配善・夕食

アルファ米のほか、多様化している備蓄食料の試食



物資・食料班による夕食の準備、およそ50人分の食事を用意。



しっかりと並んで、順番に夕食を受け取る避難者役の参加者



投光器の明かりだけでの夕食。今回はカレーライスとミネストローネ（スープ）を用意。「意外とおいしい」との声も。

### 講演

・大塚製薬(株)大宮支店

『エコノミークラス症候群について』



真剣に講演を聞く参加者

(約30分)



・(株)NTT ドコモ

『携帯電話無料充電器・Wi-Fi スポットの紹介、実演』



携帯電話無料充電器や Wi-Fi、災害用伝言版の使い方等について説明を受ける。

(約30分)



講演後、携帯電話無料充電器（マルチチャージャー）を一晩貸出。実際に充電されている携帯電話。

(※ドコモだけではなく、AU やソフトバンクも利用可能)

就寝準備

- ・毛布等配布
- ・簡易ベッド作成



- ・毛布2枚（希望者は3枚）
- ・マスク
- ・耳栓
- ・ホカロン

配布



空気入力で簡易ベッドを膨らませる参加者。専用のストローも付属しており、呼気での作成も可能。

消灯（21:00）

消灯後は不寝番による見回りを実施（30分ごとに避難所内を見回りを行う）



投光器の明りを消す。



小型のLEDライトを通路とトイレに配置。

起床（6:00）

ラジオ体操  
朝食

起床と共に電力復旧。

参加者全員でラジオ体操、健康チェック（体調確認）を行い、朝食を取る。



夕食時同様、配給場所で朝食（パン、野菜ジュース）を配膳。



避難所閉鎖  
資機材の撤収



使用した資機材の撤収要領を説明



参加者全員で協力し、資機材の撤収作業を行う。

閉会式



最後にアンケートを回収し、全プログラム終了。

解散（訓練終了8：00）